

中国四国支部シニア同好会「振動・音響」発足

3月6日 15:30~17:00 徳島大学で、中国四国支部のシニア有志による初回会合（キックオフ）を開催しました。

この同好会の趣旨は、

- ・公職を一旦離れてからも自身で研究を続けているシニア会員がおられるので、その成果を披露し語り合う場を設ける
- ・「袴」を脱いで、現役世代のとは異なる視点で気楽に幅広い問題・課題に取り組むことです。

四角四面の枠を払い除き自由に語ろうという精神で、初回であるのでまず自己紹介をしました。簡単に自身の歩んだ道と、振動・音響についての思いを各自それぞれに話しました。半世紀以上前の思い出話や、気象や鳥・昆虫にまつわる音の不思議などユニークな話題も登場しました。

次いで、初回のテーマとして、（株）振動音響技研の森田茂さんが

「加振力を用いない構造変更後の直接応答予測」と題してプレゼンしました。

自動車メーカー勤務時代からの仕事を発展させ、研究をずっと継続されていることに一同感銘を受けました。

質疑応答も、通常の研究発表の場とはひと味ふた味違ったものとなりました。

以上、とても有意義な1時間半であったと思います。

本同好会の次回開催は、約1か月前にシニア会の会員全員にアナウンスします。



<写真の説明>

オブザーバ的な方も含めて出席は9名でした。

これら写真には7人が写っていますが、お一人は帰途のため中座、もう一人は写真撮影のため席を立っています。

今回はシニア会総会があったため、全員恰好上は「袴」を着けています。

（文責 三菱日立パワーシステムズ（株） 佐藤一教）